

フジアート

発行：フジアート株式会社

住所：神奈川県藤沢市大庭 5138-1

TEL : 0120-34-6829

FAX : 0466-54-8360

HP : <http://www.fujiart-fa.co.jp>



Vol. 48

2018.05

私とフジアートの人生いろいろ

ゴールデンウィークが終わり、もうすぐ梅雨入りですね。皆様、いかがお過ごしですか。
フジアート株式会社 代表の渡邊富士雄です。

6月には衣替えの季節になりますが、なんだか今が一番暑さを感じます。長袖では暑いしエアコンをつけるにはまだ早く、何とも言えない季節です。

今年は3月に雪が降り、4月には豪雨、5月には突風と、異常気象のような気がします。

今年の夏は例年より暑さが厳しいと聞いていますが、体調管理には十分お気を付け下さい。



近年ニュースの天気予報以外でも聞かれるようになったこの「異常気象」ということば、気象庁では「30年に一度起こるかどうかの現象」と明確に定義しています。だから「今年は去年より寒かった」とか「去年の今ごろはもっと雨が少なかったのに」などというだけでは、異常気象の定義には当てはまりません。

異常気象と関連してメディアに流れるようになった「エル・ニーニョ」ですが、これは確かに異常気象をもたらす一因ではありますが、それ自体は昔から5~6年周期で起こっている自然な現象です。エル・ニーニョと逆の「ラ・ニーニャ」についても同じです。そしてそれらが影響して引き起こされる高温や低温、多雨や少雨のことを、特に「エル・ニーニョ現象」と呼んでいます。

日本の梅雨は、太平洋上の空気が暖められ、東よりの風(モンスーン)となってユーラシア大陸に吹きつけ、インド半島を経由して西風に変わりますが、その際にヒマラヤ山脈を越えられない風が南北に分かれ、ちょうど中国東部から西日本で気流が「再会」することで起こります(東日本の梅雨は、太平洋高気圧とオホツク海高気圧のぶつかりあいと解釈できます)。なのでエル・ニーニョ現象も梅雨も、地球からするとごく普通の大気の活動といえます。だからこそ、もっと地球をいたわってあげたいですよね。

5月20日は待ちに待った【お客様感謝祭】の日帰りバスツアーです。たくさんの方々からのお申込みを頂きました。今のフジアートがあるのは皆様と出会えたおかげです。その気持ちを何か形に出来ないか、とずっと思つていて実現しました。私自信もすごく楽しみにしていましたので、一日楽しんでいただけたら幸いです。また今回参加できなかつた方にも、次回はぜひ参加していただけるような企画を考えてみたいと思います！



代表取締役 渡邊 富士雄

現場の風景

このコーナーでは印象的な現場の風景をご紹介したいと思います



現場監督

岡 俊秀

「タイヤ付きノンスリップ」 5月1日 火曜日 天気 晴れ

店舗入り口に NS シート張りとノンスリップ取り付けの工事です。コンクリート下地の悪い所を補修材でならし、カットした NS シートを平場と立ち上げ面に張ります。次にノンスリップを取り付けます。今回はタイヤ付きのノンスリップです。取り付ける長さは 5.6m と 3m の 2 本。5.6m を半分の 2.8・2.8m にすると入口の中心に継ぎ目がきてしまうので、1.3・3.0・1.3m と入口を避けて取り付けました（強度と見た目のため）。

タイヤの伸縮防止用にスパイクリングを入れて固定します。

スパイクリングを入れないと年々縮んでタイヤが短くなってしまいます。



施工前



① 下地の亀裂や凹凸を補修材でならす



② NS シートをボンドで貼りつける



③ ノンスリップの台座をボンドとビスで固定

④ ビスに
スパイクリングをつける

⑤ タイヤを入れる

施工完了

帰ってきました!

つぶやき 二人三脚

気温が乱高下ですね～。みなさんお元気ですか？

今回は電線の付近で足場が必要な工事の際に、東京電力の防護管の設置有無確認が必要になったことについてですぞ～。2018年4月から『労働安全衛生規則及び建設業法』に基づき、電線の近くで作業をする場合には感電をさけるために、感電災害の防止に努める義務を負うことになりました。施工現場に東京電力から担当者がやってきて、足場等と電線の間にどのような危険が潜んでいるのか、具体的にどのように感電災害を防ぐかなどについて打ち合わせを行います。その結果、架空電線等の防護力バー類の設置作業が必要ということになった場合、設置費用を負担しなくてはなりません。

基本料金が1件につき47,000円（別途消費税）となっていて、あとはその線の状況によって部材が加算されるようになりますぞ～。

知らない業者さんもいるかと思われます。後々請求が来てしまう可能性もありますので、電線付近で足場が必要な際にはご注意くださいね。



色々な種類の防護管がありますが、
写真はその一例です。



建物診断員

黒鳥 利

（本文は2018年5月1日撮影）

Happy-Go-Lucky



リフォームアドバイザー

山中 正臣

群馬県利根郡みなかみ町。ぼくが湘南で暮らし始めてから10年来の大親友（竹内さん＝通称やっさん）が、今年に入ってから夫婦でその地へ帰郷し、念願だったクラフトビールの製造工場、いわゆる「地ビールの醸造所」をオープンしたので、GW休暇を利用して行ってきました。

お店の名前は「OCTONE Brewing オクトワンブルーイング」。

奥利根をアルファベットにして英語読みにしたところが絶妙☆

温泉地としても有名な、水源地である「みなかみ」の大自然が育んだ上質な水が使われ、四季折々に移り変わる様々な種類のビールたちが出荷を待ちわびています。

醸造所には「タップルーム」というカフェのような試飲スペース（有料）が併設され、そこで出来たてのビールを味わえるのがここの醍醐味。そして、これらのスペースの大半をDIYで作ってしまった辺りは、リフォームに携わるぼくからすれば、ただただ脱帽です。

オープン前の数年間にわたり、何度も試飲をさせてもらった美味しいビールたちは、ぼくにとって、もはや懐かしの味。今回の旅では案の定、美酒に酔いしれ、最高のひとときを過ごしてきたのですが、あまりに楽し過ぎて、湘南へ戻ってから「逆ホームシック」のような感覚に陥っています（笑）

もし、皆さんも「みなかみ」へ行かれることがあったら、是非立ち寄ってみてください。



OCTONE Brewing オクトワンブルーイング

群馬県利根郡みなかみ町湯原 702-2

電話：0278-25-4520 <http://oct-1.com/>

営業時間：日 16:00～20:00 土日祝 14:00～20:00 定休日 火曜日 / 水曜日



リフォームアドバイザー

齊家 春美

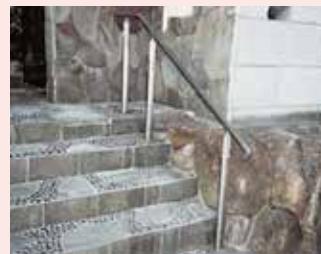
温故知新 The knowledge on your side



最近、前月号でご紹介した磁石でロック解除ができる扉など、思いもよらない発想の変わり種商品や『なるほど』と感心するものや、『何で今まで無かったんだろう』と思う商品に目が止まります。

そこで、今日はまたまた目に止まった変わり種商品をご紹介したいと思います。

玄関先に手すりをつけるとなると、こんな感じが一般的ですが →



手すりっぽく見えないおしゃれなものがいい！

という方には、こんな商品を見つけました。

支柱部分が唐草模様になっていて、ちょっとした外構のように見えます。これなら、いかにも手すり！という感じはしませんね。

なるほど、こういうのもあるのね。と思っていただけるような提案がひとつでも多く出来るように日々、情報収集を心がけていきたいと思います。



日だまり ゆるりらいふ

家事がちょっと楽しくラクになる豆知識など、無理せずできる、
心地よい生活へのヒントを主婦のつぶやきでお伝えします



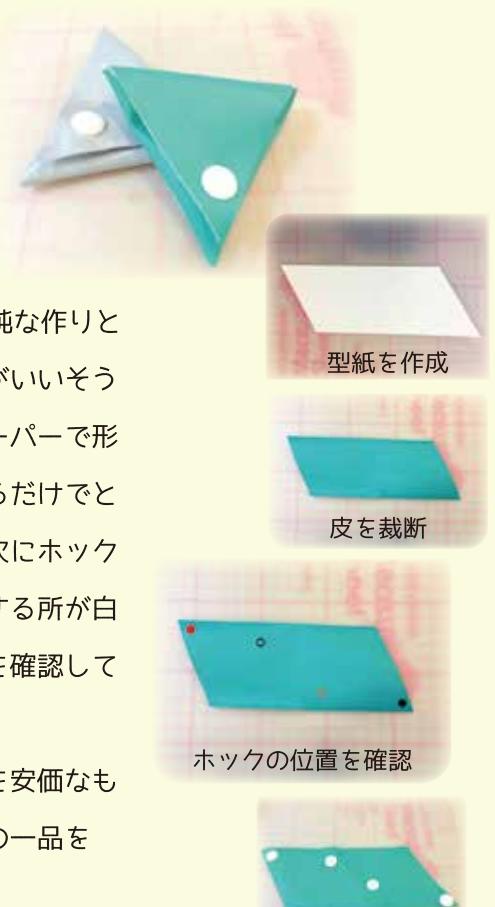
スタッフ
阿部 桃子

GW、比較的お天気に恵まれましたね。我が家は子どもの部活などがあったので遠出はできませんでしたが、日帰りで出かけたり、ひたすら庭の草むしりに精を出したりとのんびり過ごしました(^^)

今回は、針と糸を使わずにできるレザークラフト、ということで三角形のコインケースを作ってみました。

まずは型紙作りから。三角形コインケースは正三角形が4つつながっている単純な作りとなっています。厚めの革を使う場合は折り返し部分に幅をとって型紙作成した方がいいそうです。型紙を元に革を裁断します。厚みのある革を使用した場合、角をサンドペーパーで形を整えたり、コバ（側面）磨きをしたりオイルを塗ったりするそうで、手順を見るだけでとても楽しそう♪なのですが、今回私は薄い人工革を使用したので、省略です★ 次にホックを取り付けます。図の赤い丸い位置にホックの表側を取り付けます。赤丸に対応する所が白抜き赤丸部分です。まず表のボタンを取り付けてから、実際に折りたたんで場所を確認してから受け側のボタンを取り付けると失敗が少ないかと思います。

今回は専門の道具もないのに、なるべく簡単にできるように…と、ホックや革を安価なもので揃えてしましましたが、様々な質感の革やバネホックで、もっとお気に入りの一品を作りたくなりました！



編集後記

Thank you for reading.



スタッフ
三角由香

GWの終わりとともに寒くて雨と風の強い日が続き、かと思えばまたまた暑い日がやってきて… 体調を崩している方もいるかもしれませんね。私の通うヨガクラスでは先月頃から、いつもより少しきついシークエンスが続いています。先生は「夏に向かって心や体が開放的になる時期で、運動するには最適なので、梅雨入りまでは積極的に体を動かしましょうね♪」とにこやかに言いながら、これでもかと休みなくポーズを続けていきます。途中からだんだん「まだ続く！？いつまで続くの～！？」と邪念が湧いてきます。たしかに、寒いと体は動きにくいし、梅雨に入れば気温や湿度が上がってダルイから動きたくないですもんね。今が身体を目覚めさせ、めぐりや代謝をよくするチャンスだと思い頑張っています。 レッスンの最後は安楽座(あぐら)で目を閉じ、呼吸を整え、瞑想に入ります。ところがここでも邪念の嵐…「お腹空いたなあ」「この後〇〇に行かなくちゃ」。ひどい時には居眠りしていたり…まだまだ習得が必要なことはたくさんあります(笑)

さて、この『フジハート』を2014年の6月に創刊してから、4年が経ちます。その間フジアートも成長し、スタッフが増えたので、そろそろ誌面に登場するスタッフを増やしてもいいのでは？という意見が社内で挙がり、来月号からは大庭営業所と大船営業所の営業スタッフが隔月で記事を担当することになりました。職人さんのコーナーも時々変わるかも！？しません。これからもフジアートの日常や、ちょっといい情報を皆さんにお伝えできるような誌面をみんなで作っていくこうと思っています！

